

聖餐

アロン神権者は、「警告し、説き明かし、勧め、教え、またキリストのもとに来るようにすべての人を招かなければならない」義務があります（教義と聖約 20:59）。

この神権の務めを果たす一つの方法は、聖餐について教え、証することです。そのように努力することにより、アロン神権者と彼らが教える相手はさらに救い主を愛し、救い主を覚え、聖餐を尊び、御霊を伴うことができるようになります。



リソース

「一つの原則を述べたいと思います。証は実際に証をしていく中で見いだすものなのです。」（ボイド・K・パッカー「主のともしび」『聖徒の道』1983年10月号、42）

準備する

アロン神権者はふさわしい生活を送り、よく祈りながら研究することにより、聖餐について教え、証する備えをします。アロン神権者が準備できるよう導くために、定員会の指導者とアドバイザーは『わたしに従ってきなさい』の7月のアウトラインの一つである「ほかの人にとって聖餐をより意義深いものにするにはどうしたらよいでしょうか」を活用してください。また、新しいビデオ「主をいつも覚えなさい」を使うこともできます。（リンク lds.org/go/30D）

教え、証する

アロン神権者は聖餐について頻繁に教え、証するべきです。家族や定員会の新しい会員、あまり活発でない会員や新会員などに教えるとよいでしょう。ミューチャルの活動で教える機会を作るよう計画することもできます。（青少年の活動ウェブサイトの「学んだことを分かち合う」を参照。リンク lds.org/youth/activities）

分かち合う

ステークやワードや定員会の集会で、アロン神権者を招いて、救い主についての証をする、主を代表して聖餐を執行することについて感じていることを分かち合う、聖餐について教え、証した経験について話すなどしてもらいとよいでしょう。